

～ 豊かな学びの実現 ～

## 竹がつなく学校を超えた協働的な学び 丹原地域の放置竹林の保全活動

地域の課題を、地域の住民と共有し、協働して解決する探究学習。学校間で共有し、両校の特色を出し合い学びました。

灯籠の明かりで幻想的な雰囲気にもまれる西条高のお堀周辺



### 灯籠彩る優しい空間

西条高で催し生徒650個手作り

高校生が手作りの灯籠約650個で西条高校(西条市明屋敷)の正門の大手門とお堀周辺を彩る催しがあり、優しい光が訪れた人々を魅了した。スーパースイェンスハイスクール(SSH)の課題研究の一環で美術を専攻する同校の生徒5人が、うちぬき水の魅力を感じてもらおうと「水の都の灯籠祭」と題して企画・運営。持続可能な開発目標(SDGs)に着目し、学校で使わなくなったテスト用紙を灯籠の材料に利用するなどした。今年初めて灯籠流しをしたほか、丹原高の生徒と協力して丹原地域の放置竹林を活用した竹灯籠も作った。

た。

西条高2年の馬場美帆さん(16)と松垣飛鳥さん(16)は「温かな明かりで少しでも日々の疲れを癒やしてもらえたらうれしい」。丹原高2年の高橋宗士朗さん(16)は「お互いの高校が持つ特色を出し合っ活動でき、刺激をもらった」と話した。

昨年に続き2回目で、21日に開催した。

(伊藤義樹)